

人獣感染症共同研究センター発足式の開催

平成 18 年 6 月 14 日 (水)、つくば国際会議場において人獣感染症共同研究センター (Thailand-Japan Zoonotic Diseases Collaboration Center: ZDCC) 発足式が開催されました。

ZDCC は、2005 年度からの文部科学省研究予算「新興・再興感染症拠点形成プログラム」に基づきタイ国立家畜衛生研究所 (TNIAH) 内に設置された、動物衛生研究所と TNIAH の共同研究拠点です。当センターでは「東南アジアにおける鳥インフルエンザ等人畜共通感染症の疫学調査研究」の共同研究を行います。また、ZDCC はタイ国立予防衛生研究所に拠点をもち大阪大学微生物病研究所と連携し、獣医学と医学分野から新興・再興感染症の連携研究を行います。本拠点形成プログラムに参画している主幹研究機関は大阪大学を含む 4 機関 (東京大学医科学研究所、北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター、長崎大学熱帯医学研究所) の 3 海外拠点 (タイ、中国、ベトナム) で、(独)理化学研究所に各拠点を支援する感染症研究ネットワーク支援センターが設置されています。

動物衛生研究所では、拠点の活動を開始するに当たり 2006 年 2 月にタイ国農業協同組合省畜産振興局と共同研究覚書を締結し、TNIAH 内に実験室及び事務スペースの提供を受け、拠点整備と研究員長期派遣による活動を開始しました。

発足式には、タイ国畜産振興局から 5 名、タイ在日大使館、文部科学省、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、感染症研究ネットワーク支援センター、国際獣疫事務局アジア太平洋地域事務所、大阪大学、農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 本部等から 22 名の来

賓をお迎えし、総勢約 50 名の参加者がありました。午後 2 時からの式典では、谷口稔明所長の挨拶に続き、タイ国畜産振興局 Yukol Limlamthong 局長、池田千絵子文部科学省研究振興局先端医科学研究企画官、永井美之感染症研究ネットワーク支援センター長、沖浩幸農林水産技術会議事務局国際研究課課長、木下タロウ大阪大学微生物病研究所長より来賓挨拶を賜りました。その中では新興・再興感染症及び人獣感染症研究のタイ国における共同研究の重要性が述べられ、ZDCC の活動に大きな期待が寄せられました。

記念講演では、TNIAH の Pornchai Chamnanpood 所長 “HPAI situation and control measures in Thailand”、動物衛生研究所 真瀬昌司主任研究員 “Characterization of H5N1 influenza A viruses isolated in Japan”、同岡松正敏研究員 “Outbreaks of avian influenza caused by low pathogenic H5N2 virus in Japan” の講演があり、また、西藤岳彦 ZDCC 代表からの ZDCC 活動報告など、活発な情報交換がなされました。引き続き行われた祝賀会では、堀江武農研機構理事長の开会のご挨拶を皮切りに来賓の皆様からご祝辞を頂きました。

最後になりましたが、ZDCC 発足並びに本発足式の開催のために多大のご尽力を頂いた在タイ日本大使館、タイ国畜産振興局、感染症研究ネットワーク支援センター、農林水産技術会議事務局、農研機構本部、動物衛生研究所の多くの関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

(ZDCC 運営委員会)



人獣感染症共同研究センター発足式集合写真



農研機構堀江武理事長とタイ畜産振興局長 Dr. Yukol Limlamthong との記念品交換